

春の特別講演

砂漠の中の日本庭園

「マンザナー日系人強制収容所発掘から読み取る、日本文化の具現者たち」

大戦中、アメリカ在住の日系人が強制的にカリフォルニア内陸部MANZANARの荒涼な砂漠の収容所に移動させられた。人の住めないような厳しい環境の中、終戦までおよそ4年もの長い時間を過ごすことになった人々は、厳しい環境に住まわせられながらも、労働と生活の中に少しでも希望と慰めを求め環境の改善を試みた。その表れのひとつが日本庭園作りであった、過酷な環境の中で自分たちの生活に潤いを求めようとする人々の意思と努力のあとに幾つもの庭が作られた、「庭」がいかにか人の心の癒しに大きな力を持つものであるかをここにおいて証明された。また日系の人々は庭のみならず、工芸の品々、服など生活用品の製作、文化活動も行っていたことは、まさに日本文化を具現する人々であった。

戦後この収容所は取り壊され、埋め戻された。数十年を過ぎて改めて発掘作業が行われ、学術的に研究された。

このたびアメリカの考古学者 JEFFERY BURTON氏をお迎えして、カリフォルニア、マンザナー強制収容所跡地の発掘と復元維持に携わった研究のプレゼンテーションを行います。この機会に改めて日本人、日本文化を別な視野から考えることが出来ることでしょう。講演は英語にて行います。

講演日時：3月30日(木)午後7時

場所：バンクーバー日系ガーデナズ協会 2階 4291 SLOCAN St, Vancouver

費用：無料

席に限りがありますので、参加ご希望の方は:E-mail vancouvervjga@gmail.com

電話：604-439-0348（月、水、金、午前9時～午後2時）まで、お知らせください。

定員に達し次第、申し込みを打ち切らせていただきます。